

お客様とともに歩む産技研

平成19年度は、地方独立行政法人産業技術研究センターにとって、法人化2年目にあたり、中期目標達成に向けた取り組みを強化するとともに、経営品質向上のための業務改革に着手致しました。その結果、依頼試験、機器利用、技術相談等の数値目標を達成するとともに、多くの業務改革を行い、お客様へのサービス向上を実現しました。

事業化支援の分野では、平成18年度開設したデザインセンターがその利用を1700件（前年度比217%増）に伸ばすとともに、新たに環境試験センターを開設するほか合計65台の機器更新を行い、結果として、37千件（前年度比14%増）の機器利用をいただきました。

技術支援の分野では、依頼試験の増加傾向が続き、96千件（前年度比18%増）のご利用をいただきました。技術相談につきましても、81千件（前年度比7%増）のご相談をいただきました。また、計量法校正事業者の登録認定につきましては、従来の電気抵抗に加え、温度分野に取り組み、平成20年度には証明書を発行できる予定です。

研究開発の分野では、基盤研究49件、共同研究42件を実施するとともに、特許を26件（前年度比160%増）出願するなど成果を見ることができました。さらに、文部科学省の科学研究費補助金の応募資格を得て平成20年度公募に応募した結果、合計5件が採択されました。

技術移転の分野では、展示会への出展活動を強化し、新たに区や市の展示会にも出展致しました。また、昨年度より開始したお客様の要望にこたえるオーダーメイドセミナーも好評を得て、118件（前年度比22%増）と着実に増加致しました。

業務改革につきましては、職員から合計120件の提案を得て、そのうち90件を実施し、お客様へのサービス向上に寄与することができました。

さて、産技研では、今まで以上にお客様の事業を支援するべく、あらたな経営ビジョンとして、「時代の先を読み、技術の力で、産業をリードする」を掲げました。そして、この具体策として、1) ニーズオリエンテッドな事業運営、2) 戦略的な技術力強化、3) 事業化を見据えた技術支援、の3つの方針を制定しました。

昨今の経済情勢には厳しいものがあり、さらに時間とともに変化していきます。わたくしども産技研はつねに、中小企業の方々と共通の問題意識をもってイノベーションにとりくみ問題解決を図っていく、「お客様とともに歩む産技研」を目指してまいります。なにとぞ、産技研の積極的な活用をお願い致します。